

神谷しゅんいち マニフェスト 2025 Ver.1

900年の歴史を受け継ぎ
市民・地域とともに築く・千葉市の未来

都市機能の中に 緑と水辺が感じられ
セーフティネットが働き、
豊かなライフスタイルが実現する千葉市へ

10の未来ビジョンと**15**の約束 **122**の政策項

今、千葉市で

現状

- ◆2024年11月、98万5千人、昨年比+5000人
- ◆子育て世帯含む全世代で転入超過。全国8位。
- ◆しかし、将来の人口減は避けられず、減少局面でも如何に豊かな市民生活を実現していくのか、激甚化する災害への対応も課題

転入超過数（上位10都市の年代別内訳）

住民基本台帳人口移動報告 2023年（令和5年）結果

順位(R4)	都市	総数	0-9歳	10-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	対前年増減数
1(1)	東京23区	53,899	-10,339	8,539	89,812	-6,749	-6,636	-7,150	-13,578	32,479 (1)
2(3)	大阪市	12,966	-3,354	1,432	16,755	-2,183	-150	444	21	3,863 (2)
3(5)	横浜市	9,731	-354	1,904	8,493	1,219	64	-663	-932	1,305 (6)
4(4)	札幌市	8,933	251	2,054	1,822	365	681	823	2,937	20
5(6)	福岡市	8,911	18	2,489	4,509	506	362	239	788	2,880 (4)
6(2)	さいたま市	7,631	811	653	3,458	1,845	579	-138	423	-1,651
7(17)	川崎市	5,475	-2,364	1,136	11,582	-1,702	-1,152	-1,108	-917	3,266 (3)
8(8)	千葉市	5,088	267	864	1,802	955	494	249	457	1,569 (5)
9(26)	茅ヶ崎市	2,520	-	-	-	-	-	-	-	960
10(25)	平塚市	2,499	-	-	-	-	-	-	-	932

これから

- ◆千葉市は東京のベッドタウンというよりも、経済や文教の拠点都市としての性格が強いまち
- ◆東京に依存するのではなく、「雇用と学びの場」を創り出していくことが千葉市の持続的発展に必要

そのために、

- ◆市内事業者支援と企業立地により雇用を創り、農業の担い手を確保して地域社会を守る
- ◆「千葉」が拠点となる都市基盤として、東京都内と羽田・成田両空港とのアクセスを改善する広域道路や鉄道のネットワークの充実
- ◆健康寿命を伸ばし、地域で長く安心して住み続けられる高齢者福祉と障害者福祉
- ◆子育てと仕事を両立できる子育て環境づくりと、若者の就労支援や地域全体で支える仕組みづくり
- ◆都市機能の中に、緑と水辺を感じられる自然環境や都市公園の憩いの場の磨き上げ
- ◆千葉市の持つ地域の魅力やちからを再認識し、引き出し、広げ、持続可能な地域の支えあいの仕組みづくり

千葉市・未来ビジョン2025

01

職住近接が可能で、
子育てと仕事が両立できる・千葉市に

02

都市機能の中に緑と水辺が感じられ、
脱炭素社会のモデルとなる・千葉市に

03

こどもの権利が守られ、確かな学力が身に付き
若者に支援が届く・千葉市に

04

高齢者も障害のある人も、
地域で長く住み続けられる・千葉市に

05

迅速な初動と避難所が強じんな
防災都市・千葉市に

06

市民生活や経済活動に、
必要な交通手段が確保される・千葉市に

07

文化芸術・スポーツ活動を
「する」「みる」「支える」機会がある・千葉市に

08

行革やDXで市民に時間を返し、千葉県との連携で、
県民も市民もメリットが感じられる・千葉市に

09

対話と現場主義を実践し、
市民の声が届く・千葉市に

10

民間や地域の力を結集してチャレンジを続け、
時代のトレンドを創る・千葉市に

千葉開府900年の節目に、 愛着と誇りを育み「地域のちから」を高めます。

千葉のまちの成り立ちを振り返り、
ひとつづくりを進め、「地域のちから」を引き出します

千葉開府900年記念事業を行います

・千葉開府900年記念事業として、記念式典、記念祭りやパレードの開催のほか、郷土博物館のリニューアル、若者・起業家に対する研修プログラム等を実施し、将来に向けたひとつづくりにつなげていきます。



郷土博物館をリニューアルオープンします

・陸と海・人とモノを結ぶ「千葉」の歴史のダイナミズムを体感できる通史展示、千葉氏が本拠とした千葉市ならではの中世の展示を行います。大人も子どもも楽しめる体験展示として令和7年秋のオープン。



千葉国際芸術祭2025を開催します

・千葉国際芸術祭2025「ちから ひらく」を開催し、新たなひとと地域のつながりを広げながら、歴史や自然など地域の価値を再認識することで、まちへの愛着と誇りを育み、千葉市の魅力を高めます。トリエンナーレとして継続開催を目指します。



千葉国際芸術祭 2025
Chiba City Arts Triennale 2025
ちから、ひらく。

持続可能な地域の支えあいの仕組みをつくります

・自治会・町内会の業務の重点化、デジタル技術の活用、区役所の地域づくり担当職員による支援、NPOや大学との連携などを進め、活動への参加のしやすさ向上や負担軽減につなげ、担い手確保を支援します。

約束 1 子育てと仕事が両立できる環境づくりをさらに推進

待機児童ゼロを継続した上で、 子育て世代の経済負担の軽減と時間を生み出します

子育て世代の経済的負担を軽減します

- ・第2子以降の保育料を年齢や所得制限なしで半額に
第1子が小学校に入学すると第2子は半額になっていませんが、年齢や所得制限なく第2子の保育料を半額にします。
- ・産後ケア事業の利用者負担額を引き下げます。
- ・おたふくかぜワクチン接種に助成します。

保育士を確保し、待機児童ゼロを継続します

- ・保育士の千葉市手当を月額3万円から4万円に引き上げます。
- ・保育士修学資金貸付の月額を引き上げ、5年間市内勤務後は返済を免除することで、学費相当額を支援します。

忙しい子育て世帯の時間を生み出します

- ・公立保育所でのおむつのサブスクリプション（定額利用）を導入し、保護者、保育士双方の負担軽減を図ります。
- ・公立保育所の給食の主食提供をすべての保育所で実施します。
- ・コロナ禍で受入数が減少した病児病後児保育の受入枠を拡大します。
- ・きょうだい入所を可能とする入園調整を行います。

約束 2 確かな基礎学力と体力をつける学習環境を創る

不確かな時代に活かせる確かな基礎学力をつけ、
理解度に応じた学習環境を充実します

市立学校の体育館にエアコンを整備します

・近年の気候変動で必須であるエアコンの設置を千葉市立学校の体育館で開始します。中学校、特別支援学校、市立高校は令和8年度中に整備を完了し、小学校は令和9年以降順次整備します。体育の授業、夏の部活動、地域行事が気温上昇にかかわらず行えるようにし、**災害時の避難所の環境改善**にも活かします。

アフタースクールへの移行を進めます

・こどもルームの待機児童ゼロを継続するとともに、**保護者の就労状況にかかわらず**放課後のこどもの安全安心な居場所となる**アフタースクールへの移行**を計画的に進めます。

ギガタブを用いた新たな教育スタイルを確立します

・市立学校のインターネット通信環境を改善し、学習に適切なセキュリティレベルとした上で、**軽い端末の導入**や**学習支援ソフトの採用**など**ギガタブの活用**を一層進め、個々の理解度に応じた学習など、新しいスタイルの教育を確立します。また、家庭のパソコンを学校のシステムにつなぎ、**ギガタブを持ち帰らなくても自宅で学習できる環境**をつくれます。

・小中学校の**英語教育**に**AIソフト**などの教材を導入し、会話力の向上を図ります。

・**プログラミング教育**を充実し、これからの社会で一層必要となる**情報活用能力**を養います。

約束3 若者支援と不登校など厳しい状況にある子どもへの支援

若者へのサポートを強化。不登校児童生徒を支援し、
学びの多様な学校の開校を準備します。

若者へのサポートを強化します

- ・「**子ども若者基本条例**」にもとづき、子どもの権利を保障し、その侵害については**救済委員の勧告により是正が図られる仕組み**をつくります。
- ・「**子ども若者支援室**」を設置し、若者の就職、資格取得の支援に加え、居場所や相談、活動の支援などをするユースセンターの機能を官民連携で確保して、これまで行政の支援が届きにくかった年代へのサポートを強化します。

第2次不登校対策パッケージを実施します

- ・「**学びの多様な学校**」の開校準備を始め、不登校傾向のある生徒の学ぶ機会を一人ひとりの適性に合った形で保障します。
- ・ スクールカウンセラー、ステップルームティーチャー、家庭訪問カウンセラーの配置を拡充し、**保護者にとっても相談しやすい体制づくりを進めます。**

子どもの発達相談の拠点を整備します

- ・**新・東部児童相談所**の中央区末広への**新規設置準備**を進めるとともに、養護教育センター、発達障害者支援センター、子ども発達相談室を移転集積して、切れ目のない支援や児童虐待に対応する体制を構築して、**保護者が安心して子育てができる、子どもが安心してすごせる拠点づくりを進めます。**



約束 4・5 高齢者も障害のある人も地域で生活できる環境づくり

高齢者が長く安心して地域で生活し、
相手を尊重し相互に分かり合える共生社会に。

带状疱疹ワクチン接種に助成します

「福祉まるごとサポートセンター」を拡充します

・既存の制度では対応が困難な複雑化・複合化した課題を抱える方への支援のため、地域の集いなどへの参加につなげる支援事業の実施など、「福祉まるごとサポートセンター」の機能を拡充します。

新千葉市立病院を令和8年度に開院します

・小児周産期医療の強みを活かしながら、整形外科と救急科を強化するほか、高齢化に伴って増加する肺がん等のがん治療に対して症状やライフスタイルに合わせて治療を選択することができる集学的治療を可能にするなど、高齢化社会に求められる地域医療を提供します。

フェアトレードタウンの認定取得を目指します

・世界の価値あるものを市民や事業者が購入して支援する（**インターナショナル・フェアトレード**）ほか、障害者が製作した製品を市が購入する優先調達や事業者・市民による購入を進め（**チャレンジド・フェアトレード**）、地産地消を進めます（**ローカル・フェアトレード**）。価値あるもの、受け継ぎ残したいものを見合った対価で購入して応援する取組を進めます。

手話言語普及・コミュニケーション条例を制定します

・視覚障害や聴覚障害など様々な障害のある人が、情報にアクセスし、発信できるようにするための**手話言語の普及や円滑なコミュニケーションのための条例を制定し、意思疎通を支援する環境の向上や市民理解を促進します。**

ごみ出し支援の仕組みを検討します

・在宅高齢者・障害者のごみ出し支援の仕組みづくりに取り組みます。

約束 6・7 脱炭素社会の実現と災害に強いまちづくり

脱炭素社会の実現に向けモデルとなる取組を進め、 災害に強い強じんな避難所をつくります

市施設の電力消費に伴うCO2排出を実質ゼロにします

・国内最大規模の電力需給一元化システムを構築し、新清掃工場で発電した電力を託送し、市有施設約750か所の電力消費に伴うCO2排出実質ゼロを実現します。同時に電気料金を節減し、行政効率化につながる脱炭素化を進めます。

金属ヤード条例規則を厳格化し火災を予防します

・全国で初めて刑事罰を設けた金属スクラップヤード条例に基づく立入指導を強化するとともに、火災発生防止や延焼リスクの軽減のため、雑品スクラップの保管基準を新たに設ける規則改正を行います。

能登半島地震の教訓を踏まえ防災体制を強化します

- ・長期の避難所の運営の改善、介護を担う人の確保、トイレやシャワー等の水回りの機能確保を行います。
- ・災害時における要配慮者支援に向けて個別避難計画の策定を進めます。
- ・想定最大の高潮の被害想定を踏まえた避難計画を策定し、被害予想地域に周知します。
- ・避難所等に配備した備蓄品の管理のため、防災備蓄倉庫及び分散備蓄倉庫の増設と更新を行います。
- ・県立高校や公民館などマンホールトイレが未整備な避難所でのマンホールトイレの整備のほか、自宅での携帯トイレの備蓄を促進するキャンペーンを実施します。

約束 8・9 ウォーカブルなまちづくりと 市民の文化芸術・スポーツ活動を支援します

ひと中心のウォーカブルな街並みを目指すほか、
ホームタウンチームのスタジアム、アリーナを
拠点とした地域づくりを進めます。

中央公園プロムナードの再編を検討します

千葉駅周辺の再開発の進展や滞在型の催しの開催などの状況変化を踏まえ、ウォーカブルな街並みを目指します。

- ・ 景観規制の見直しや中央公園プロムナードの車線を減じて歩行者空間や緑の憩いの場を拡大する等、権利者や広くまちづくりに関わる方々と「中プロ・デザインラボ」で「ひと中心」の再編に向けて議論を重ねます。
- ・ 「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン」を改定し、中央公園プロムナードを通過する場所から交流が生まれる場所へと転換し、中心市街地の再生を目指します。

スタジアム、アリーナを拠点としたまちづくりを進めます

千葉ロッテマリーンズ、ジェフユナイテッド市原・千葉、アルティエリ千葉などホームタウンチームを地域資源と捉え、スタジアムやアリーナを拠点とした地域活性化を進めます。

- ・ ZOZOマリンスタジアムの再整備計画について、マリーンズや民間事業者そして千葉県と協力しながら具現化し、365日楽しめ、賑わいを生み、ひとが行き交う幕張新都心の拠点とすべくまちづくりを進めます。
- ・ 民間事業者が設置するアルティエリ千葉のホームアリーナは、市民利用ができる形での整備を支援し、まちのにぎわいを創出します。

道路ネットワークの整備を進め、都内とのアクセスを改善するほか、
日々の公共交通手段を確保します

新湾岸道路など道路ネットワークの整備を進めます

- ・成田空港へのダブルアクセスや市内渋滞緩和、千葉港のポテンシャルの最大化に寄与する「**新湾岸道路**」の整備に向け、生活環境や景観に配慮したものとなるよう取り組みを進めます。
- ・生実本納線（赤井町地区）など**幹線道路のミッシングリンクの解消**と、千葉川上八街線などの歩道整備など、**既存道路のリノベーション**を進めます。

路線バス確保とJR京葉線ダイヤ改善に取り組みます

- ・市内路線バス事業者と千葉市とで協議の場を立ち上げ、路線バスの複便に向けた取り組みを強化します。
- ・JR東日本と定期的に意見交換を行い、市民生活や経済活動の実態に見合うダイヤ編成を維持する取組を行います。
- ・グリーンスローモビリティの導入支援やコミュニティバスの運行など**地域の実情に応じたモビリティ手段を確保**します。

市民の憩いの場である都市公園・河川空間のリニューアルを進めます

- ・都川、花見川、鹿島川などの**河川空間とまちなかの公園を一体的に活用**する社会実験などを行います。
- ・公園のトイレの洋式化、内外装の改修等**身近な公園の快適化**を進めます。
- ・千葉市の**動物公園リスタート構想**に基づき、**湿原ゾーン、森林ゾーン、大池再整備**に向けた取組を進めます。
- ・千葉公園について、浸水被害を軽減する施設整備をしながら、お花見広場などの**やすらぎゾーン**、荒木山やボートハウス等の**水辺ゾーンの再整備**を行います。
- ・海浜幕張公園**Bブロック**は、海浜幕張駅蘇我側新改札口の設置と合わせ、民活導入による再整備を進め「**ひとも緑も健やかに**」を具体化する**広場、カフェ、明るく快適な緑陰**を整備します。

スタートアップ支援で創業率を高め、
企業立地と合わせて経済の好循環を生み出します。

物価高騰対策、賃上げと人手不足解消を支援します

- ・ 物価高騰の影響を受ける市内企業の事業継続を支援するほか、賃上げを可能とする価格転嫁を促進して、人手不足の解消を後押しします。
- ・ 市内企業の生産性を向上するため、資格取得など従業員育成や能力開発を促進する事業を強化するとともに中小企業のDX推進を支援します。

スタートアップ・エコシステムを強化します

- ・ スタートアップ支援のため、金融機関や大学等との連携を強化し、個別の成長支援プログラムや海外展開支援など支援を拡充し、地域全体の創業率の向上を図ります。
- ・ 多様な交流により新たな付加価値を生み出すための、イノベーション拠点の機能充実や外部人材の活用による新事業展開を支援します。

企業立地と観光プロモーションを推進します

- ・ 産業用地の供給を進め、企業立地を引続き推進

市長によるトップセールスも行いながら、雇用や市内企業の取引を創出し、地域福祉や教育の税源涵養の効果が高い企業立地を引き続き推進します。緑地保全に配慮しながら、10～20ヘクタールの中型規模の用地を官民連携方式で計画的に供給します。

- ・ 市内の宿泊客数を増加させます

MICEの開催支援を行うほか、宿泊税を検討し、観光資源の磨き上げとプロモーションの充実を図ります。

地方卸売市場を再整備します

老朽化が進む千葉地方卸売市場について、今後の取引量を見込んだ上で、民間活力を導入した再整備を行います。

**収益性の高い成長産業を目指し、
農地が耕作放棄地となることを防いで地域を守ります。**

新たな担い手の確保と後継者支援を強化します

- ・生産の基礎から経営的視点の育成まで一貫した研修を行い、新規就農者を確保します。
- ・新規就農者に加え、既存の農家や農業後継者を対象に、農業機械・設備等への補助制度を充実します。

農政センターを技術・販路の相談拠点にします

- ・農政センターを、生産者、流通事業者、農業機械メーカー等が集い、**技術や販路の相談拠点となるよう機能充実**を図ります。
- ・地域農業の担い手の農地利用を促進するため、**荒れた農地や耕作放棄地を再生・活用する支援を充実**します。

有害鳥獣対策を強化します

- ・集中捕獲やわなの増設、狩猟免許取得の支援等、**地域が主体となる有害鳥獣対策を強化**し、イノシシや中型獣の定着防止や市内への被害拡大を食い止めるための支援を行います。

食のブランド「千」の取扱い店舗を拡大します

- ・千葉開府900年に向け、食のブランド「千」の魅力を高め、**取扱い店舗や生産者の売上の増**を図ります。

デジタル化を進め、市民に時間を返すほか、
公共施設の修繕を進めサービスを向上します。

公民館の修繕、建て替えを進めます

- ・地域ニーズを踏まえ、資産の有効活用を図りながら、老朽化する公民館等の社会教育施設の修繕、建替えを計画的に進めます。
- ・老朽化により更新時期を迎えている公共施設について、大規模改修等による保全修繕を計画的に行います。（総合保健医療センター、療育センター、千葉中央コミュニティセンター等）



書かない窓口、行かなくてもいい窓口を導入します

- ・市への申請届け出の内容を窓口で確認し、原則署名するだけで手続きが完了する「書かない窓口」を導入し、来庁された市民の負担を軽減します。
- ・真に対面での手続き対応が必要な市民に職員を充て、市民に時間を返すために、オンライン手続などを自宅で、また郵便局やコンビニなどの近場で扱える事務を拡充し、区役所等においても証明書を自動作成できる無人対応サービスを導入し、市民が区役所等の有人の窓口に来る必要のない取組「行かなくていい窓口」を進めます。

千葉開府900年の節目に、
まちの歴史のダイナミズムがわかる取組を進めます。

郷土博物館をリニューアルオープンします

・郷土千葉のあゆみとダイナミズムが分かる博物館への再生

陸と海・人とモノを結ぶ「千葉」の歴史のダイナミズムを体感できる通史展示、千葉氏が本拠とした千葉市ならではの中世展示を行います。大人も子どもも楽しめる体験展示として令和7年秋頃のオープン予定。



加曽利貝塚新博物館・史跡整備を進めます

縄文文化の研究とその成果を市民等に発信する拠点とするため、史跡のガイダンス機能を備えた新たな博物館を整備します。また、魅力や重要性を広く周知するため、史跡内の整備や集客イベント等を実施します。



市民との直接対話を継続。
市職員の働き方改革を進めます。

「市長と語ろう会」の全区開催を継続します

・「市長と語ろう会」、ティーミーティングを継続

市民や地域が今向き合っている課題を共有し、市政に迅速に反映します。

資産経営と行財政改革を進めます

・公共施設や高齢者・子育て支援施設の立地場所として市有地の有効活用を進め、利用しない場合は売却など資産経営を進めます。

・物価高騰や光熱水費の値上がり、デジタル化経費、扶助費の増加、公共施設の更新なども控えており、厳しい財政状況となっています。このため行財政改革をこれまで以上に進め、**財政状況や料金改定についての丁寧な説明**を行います。

職員の働き方改革を推進します

・市役所職場の働き方改革

業務内容や目的に応じて時間と場所を選択できる勤務形態、通年の軽装促進、AI導入など、市役所職場の働き方改革として定着させます。

・「千葉市職員・女性活躍・子育て応援プラン」の推進

育児・介護等と仕事の両立を支援するため勤務パターンの拡充や介護休暇等の日数拡充を行うほか、主査級に占める女性職員比率を40%に、2週間以上育児休業を取得する男性職員の割合を85%とすることを目指します。

都市機能の中に 緑と水辺が感じられセーフティネットが働き、
豊かなライフスタイルが送れる千葉市の実現に向け
ともに進んでまいりましょう。